

【装置紹介】 酸素・窒素分析装置

概要

酸素・窒素分析装置(LECO 社製 ON736)は、金属材料及び無機材料中の酸素及び窒素を同時に定量分析する装置です。

分析方法

試料を黒鉛ルツボに投入し、直流電流で昇温 3000°Cにて融解させ、発生した CO,CO₂を赤外線検出器に導入し、酸素を定量します。又、生成した N₂を熱伝導度検出器により窒素を定量します。



メーカー	LECO 社
形式	ON736
分析範囲	O 0.5ppm~0.2%(試料量 1g)
	N 0.5ppm~3% (試料量 1g)
試料量	通常 1g
検出方法	O 赤外線吸収法
	N 熱伝導度法
分析精度 (いずれか大きい方)	[O] 0.25ppm または 0.5%RSD
	[N] 0.25ppm または 0.5%RSD

図 1 酸素・窒素分析装置(LECO 社製 ON736)

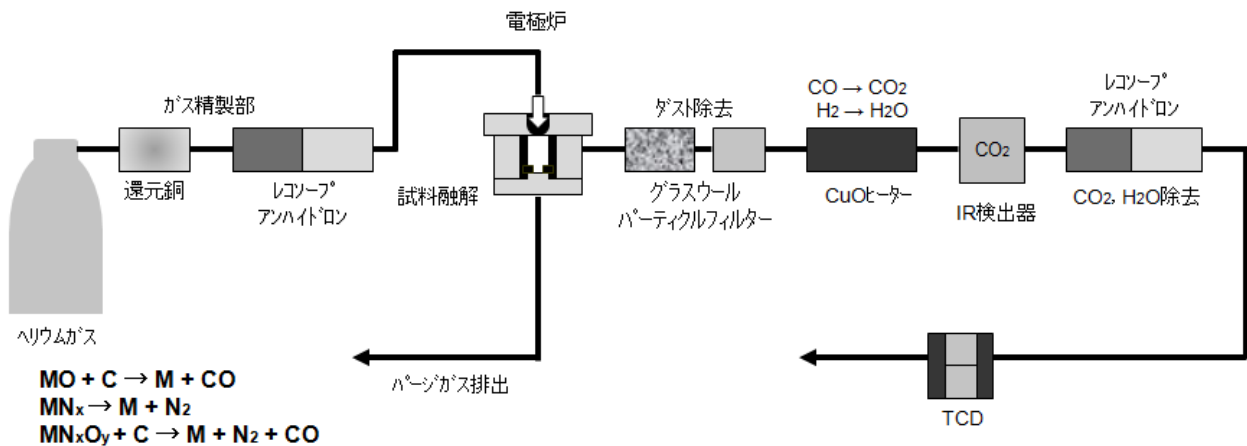


図 2 酸素・窒素分析装置(LECO 社製)の模式図

適用分野

鉄鋼・非鉄金属・セラミックスなど。